

白髪一雄記念室 第16回展示

寄贈・寄託 作品選Ⅱ

— 年賀状原画シリーズを中心に —

2020/10/10(土) —
2021/3/21(日)

開館時間 / 10:00~17:00 (最終入館 16:30)

入 場 料 / 一般 200円 シニア (65歳以上) 100円 大高生 100円
中学生以下は無料

※ 障がい者手帳等をご持参の方は半額、その介護者の方1名は無料。

休 館 日 / 毎週火曜日、火曜日が休日の場合は開室、翌水曜日が休館。
12月29日(火)~2021年1月3日(日)

※第73回尼崎市展の開催期間中、10月10日(土)~10月18日(日)は、入場無料です。

※「パレエ・リュスと美術家たち」の開催期間中、11月21日(土)~12月13日(日)は、
同展の入場券で白髪一雄記念室もご覧いただけます。

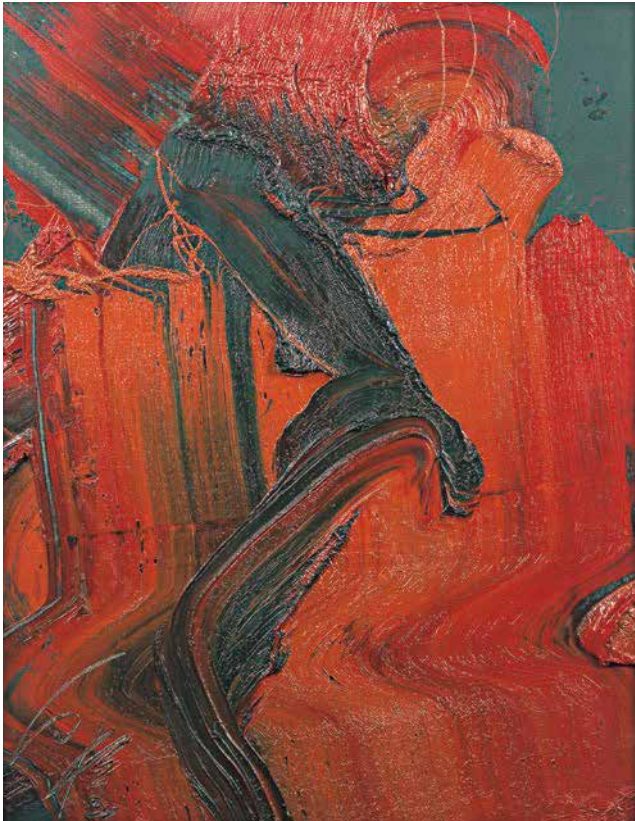
尼崎市総合文化センター 白髪一雄記念室

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16 Tel.06-6487-0806





《無題》1960年 千代田工芸株式会社寄贈



《タチカラ男》1969年 加西市寄託



《寿春》1995年



《チャクラの浮遊》1975年

年賀状原画シリーズ 1974～98年 個人寄贈(匿名)
表面上段左から：
《無題》1977年／《無題》1982年／《作品》1983年／《旭輪》1976年
《旭光》1991年
《恵日》1981年／《青磁》1978年／《無題》1974年／《新しい朝》1998年

当記念室は、戦後日本を代表する尼崎市出身の抽象画家 白髪一雄(1924-2008)の没後、2013年11月に開設し、尼崎市が所蔵する白髪一雄作品に加えて、白髪のご遺族より寄託を受けている多くの資料をもとに、各回テーマを設けて展示を行っています。

開設からこれまでの7年間には、活動の趣旨に賛同する個人や公共機関等から寄贈・寄託を受け、作品・資料の充実が図られてきました。

第16回展示では、平成26年度に寄贈を受けた年賀状原画シリーズ(油彩9点、水彩16点)を中心に、昨年度に寄贈を受けた初公開作品を含む27点をご紹介します。

年賀状原画シリーズは1970～90年代にかけて、白髪が年賀状の原画として毎年1点ずつ描いた小品シリーズです。年始を祝うものであるため鮮やかな色調で描かれ、華やかな印象を与えます。また、加西市から寄託を受けている《タチカラ男》は、ヘラを用いて描いた伸びやかな色面の上に、身体による激しい動きを感じさせる線が重なり、力強さが強調された作品です。

昨年、新たに寄贈された《無題》は、具体美術協会で活躍していた時代の1960年に描かれたもので、赤と黒を基調とした白髪らしい作風です。

白髪のアクション・ペインティングの幅広い表現の魅力をお楽しみください。

展示解説会

担当学芸員による展示作品の解説を行います。

日 時：11月28日(土)、12月19日(土)、2021年2月27日(土)
いずれも14:00～

場 所：白髪一雄記念室

定 員：各日10名

参加費：無料(白髪一雄記念室の当日券が必要です。)

申込み：不要(当日、直接会場へお越しください。)

同時開催

兵庫県立芸術文化センター所蔵 薄井憲二バレエ・コレクション特別展 バレエ・リュスと美術家たち

会 場：美術ホール5階

会 期：11月21日(土)～12月13日(日)

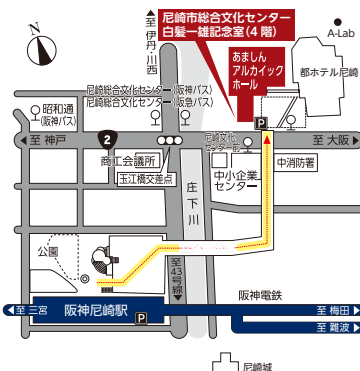
入場料：一般 500円 シニア(65歳以上) 400円 大学生 400円
高校生以下無料

※本展の入場券をお持ちの方は、白髪一雄記念室にもご入場いただけます。

ご来場の皆様へ

ご入館の際はマスクの着用と手指の消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにご協力をお願い申し上げます。

Access



- 阪神尼崎駅より
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)
- JR尼崎駅より
阪神バス駅南側4番のりば②→
阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車
- 阪急塚口駅より
阪神バス③→「昭和通」下車
阪急バス④、⑤→「尼崎総合文化センター」下車
※阪神バスは尼崎市内線
- 有料駐車場あり(30分200円/最大1,200円)



白髪一雄記念室 | <http://www.archaic.or.jp/shiraga/>

